

ハイヒモゴケ科

ヒロハシノブイトゴケ

Trachycladiella aurea (Mitt.) M.Menzel

兵庫県ランク… C

環境省ランク… NT

■ 県内分布

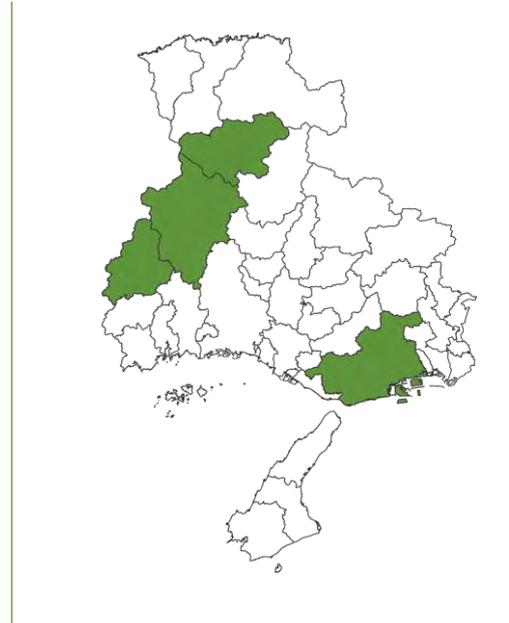
神戸市、宍粟市、佐用町、養父市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

産地は少ないが、既産地での集団サイズは小さい。

■ 保護上の留意点

山間部溪流沿い林道のり面の灌木にはえることが多いので、雑草をかりとる際に留意が必要。



写真提供: 秋山弘之

■ 種の概要

茎は長く30cm以上になることがあり、不規則に分枝する。葉は扁平につき、葉を含めて幅2-3mm。枝葉は長さ2-2.5mm、卵形から広卵形の下部から細く糸状に漸尖する。葉縁には細かい歯があり、中肋は細く葉の中部で終わる。葉身細胞は狭菱形から六角形、壁沿いに多くのパピラが密に並び、細胞壁の境界は不明瞭。雌雄異株。蒴柄は短く1.5-2mmで平滑。外蒴歯の上部にパピラ、下部に横条がある。内蒴歯の歯突起は外蒴歯とほぼ等長。胞子は直径15-20 μ mである。渓谷沿いの樹木や岩から垂れ下がる。葉細胞の多数並んだパピラによる光沢の少ない鈍い色合いが特徴的である。